

○計画期間:令和3年7月～令和9年3月(5年9月)

I. 中心市街地全体に係る評価

1. 令和4年度終了時点(令和5年3月31日時点)の中心市街地の概況

本市は、平成19年5月に「第1期山口市中心市街地活性化基本計画（計画期間：平成19年5月から平成25年3月まで）」、平成26年3月に「第2期山口市中心市街地活性化基本計画（計画期間：平成26年4月から令和2年3月まで）」の認定を受け中心市街地の活性化に取り組んできた。

この間、中心商店街の空き店舗数が減少し中心市街地内の居住人口の維持が図られるなど、一定の効果を発現することができたものの、中心市街地におけるまちの老朽化への対応や、まちなかの持つ魅力の更なる向上など、様々な課題も浮き彫りになったことから、令和3年6月に「第3期山口市中心市街地活性化基本計画」の認定を受け、中心市街地の活性化に向けた取組を進めている。

令和4年度は、昨年度に引き続き、中心市街地内の空き店舗への新規開業希望者に対する支援として「あきないのまち支援事業」を実施したほか、「中心市街地開業サポートセンター事業」「多様性あふれる商店街推進事業」「中心商店街稼ぐ力向上支援事業」「まちゼミ」など既存店舗も含めた支援事業を行った。これらにより、中心商店街の店舗の状況は、新規出店数13店舗を確保することができ、令和5年3月末時点での営業店舗数は282店舗となっている。

中心市街地を楽しい場とすることを目的にした「まちなかクリエイティブフィールド事業」では、中心商店街の空き店舗を活用した活動拠点「VIVISTOP YAMAGUCHI」において、子ども達が自分たちのアイデアを生かしたものづくりの活動を行った。

また、「アートでつなぐまちの活性化事業」では、山口情報芸術センター（YCAM）の持つ「コロガル公園」の知見を活用した考える遊び場「ころがるあそびのひゃっかてん」を11月3日から1月29日までの期間、山口井筒屋2階に開設した。

このほか、中心商店街を歩きたくなる空間とするための整備事業である「歩きたくなるまちなか整備事業（商店街アーケード）」では、安心安全な歩行空間とするためのアーケード内のタイル舗装改修について、地元アーケード商店街と協議を進め、実施設計に着手するに至った。また大市商店街においても同様に、修景整備のための設計を行った。

さらに、密集市街地や居住環境の改善を目的とする「山口駅前地区住宅市街地総合整備事業」では、善福寺地蔵通り線及び相物小路・銭湯小路線の道路拡幅等の整備に向けた業務を進めた。

【中心市街地の状況に関する基礎的なデータ】

(1) 居住人口

基準日：毎年度1月1日

(中心市街地地域)	令和2年度 (計画前年度)	令和3年度 (1年目)	令和4年度 (2年目)	令和5年度 (3年目)	令和6年度 (4年目)	令和7年度 (5年目)	令和8年度 (最終年度)
人口	4,625	4,669	4,652				
人口増減数	181	44	-17				
自然増減数	-28	-36	-43				
社会増減数	214	83	27				
転入者数	464	367	273				

(2) 小売販売額

単位：百万円

	令和2年度 (計画前年度)	令和3年度 (1年目)	令和4年度 (2年目)	令和5年度 (3年目)	令和6年度 (4年目)	令和7年度 (5年目)	令和8年度 (最終年度)
市全体	-						
中心市街地	-						

※現時点での最新値が「経済センサス活動調査（平成28年度）のため、記載不可。

(3) 事業所数

	令和2年度 (計画前年度)	令和3年度 (1年目)	令和4年度 (2年目)	令和5年度 (3年目)	令和6年度 (4年目)	令和7年度 (5年目)	令和8年度 (最終年度)
市全体	-						
中心市街地	-						

※現時点での最新値が「経済センサス活動調査（平成28年度）のため、記載不可。

(4) 公示地価

単位：円/m²

	令和2年度 (計画前年度)	令和3年度 (1年目)	令和4年度 (2年目)	令和5年度 (3年目)	令和6年度 (4年目)	令和7年度 (5年目)	令和8年度 (最終年度)
道場門前2-8-21	64,000	64,000	64,000				
米屋町3-19	85,600	84,500	84,500				

2. 令和4年度を取組等に対する中心市街地活性化協議会の意見

「中心商店街への新規出店数」は、単年度で13店舗の出店となり、目標達成に向けて順調に推移している。これまでに実施してきた「あきないのまち支援事業」や、「中心商店街開業サポートセンター事業」における街づくり山口およびタウンマネージャーとの連携強化の効果がみられる。社会情勢が「ウィズコロナ」となったことを背景に増加傾向である出店ニーズに対応する為、「遊休不動産活用推進事業」や「店舗改修支援事業」を活用した貸出可能物件の増加に向けて、引き続き取組を支援していく。

また、求心力のある商業・業務エリアの形成に向けては、新規出店に注力する一方、既

存店の振興も重要なポイントである。「中心商店街稼ぐ力向上支援事業」における店舗改善や事業者間連携の促進、円滑な事業承継に向けた商工会議所等との連携、各種ソフト事業の実施による中心商店街の賑わいの創出の取組等、引き続き支援していく。

「中心商店街営業店舗数」は282店と現時点で既に目標値を達成している。各種事業の実施により、今後の維持増加を図るよう引き続き取組を支援していく。

「商店街等通行量」は、単年度では目標を下回った。イベントの実施等による短期的な通行量の増加のみ目指すのではなく、日常的な賑わいの創出が必要となる。第3期中活計画の基本方針である「居心地が良く歩きたくなるまち」の実現に向けて、山口駅通り筋およびアーケード通りをはじめとした市街地全体の早急なバリアフリー化の実現、市役所本庁舎建て替えに伴う中心市街地エリア全体での回遊性の向上が望まれる。また、「多様性あふれる商店街推進事業」による幅広い世代の買い物以外の来街機会の創出等の各種事業により、ウォークアブルシティの推進に向けた支援を引き続き行っていく。

「中心市街地における建物更新件数」は、「山口駅前地区住宅市街地総合整備事業」による用地取得や道路整備が順調に進められている。人々が安心して過ごすことができる「まちなか」の形成に向けて、引き続き取組を支援していく。

II. 目標ごとのフォローアップ結果

1. 目標達成の見通し

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値	基準値からの改善状況	前回の見通し	今回の見通し
求心力のある商業・業務エリアの形成	中心商店街営業店舗数	275店舗 (R2年度)	281店舗 (R8年度)	281店舗 (R4年度)	A	①	①
	中心商店街への新規出店数	83店舗 (H27～R1年度) 累計	96店舗 (R3～8年度) 累計	29店舗 (R3～4年度) 累計	—	①	①
交流と創造による来街機会の創出	商店街等通行量 (通常時の平日・休日平均)	34,700人/日 (H28～R2年度) 5年間平均	36,800人/日 (R8年度)	31,047人/日 (R4年度)	C	①	①
誰もが安心して過ごすことができるまちへの再生	中心市街地における建物更新件数	3件 (H27～R1年度) 累計	12件 (R3～8年度) 累計	6件 (R3～4年度) 累計	B	①	①

< 基準値からの改善状況 >

A：目標達成、B：基準値より改善、C：基準値に及ばない

< 目標達成に関する見通しの分類 >

①目標達成が見込まれる ②目標達成が見込まれない

※関連する事業等の進捗状況が順調でない場合はそれぞれ1、2とする。

2. 目標達成見通しの理由

「中心商店街営業店舗数」については、既存店舗の営業力の強化支援策や新規出店に関する支援事業の拡充を図りながら継続して実施することとしており、目標達成が見込まれる見通しとした。

「中心商店街への新規出店数」については、出店の際の店舗改装費等の支援に関する事業を継続して実施することから、目標達成が見込まれる見通しとした。

「商店街等通行量」については、計画期間中に、歩きたくなるまちなかの形成に向けた「まちなかウォークブル」の取組を進めており、各種事業の実施により来街機会の創出を図ることから、来街者の増加を見込んで、目標達成が見込まれる見通しとした。

「中心市街地における建物更新件数」については、住宅市街地総合整備事業が順調に進捗しており、老朽建築物等の更新が計画的に図られることから目標達成が見込まれる見通しとした。

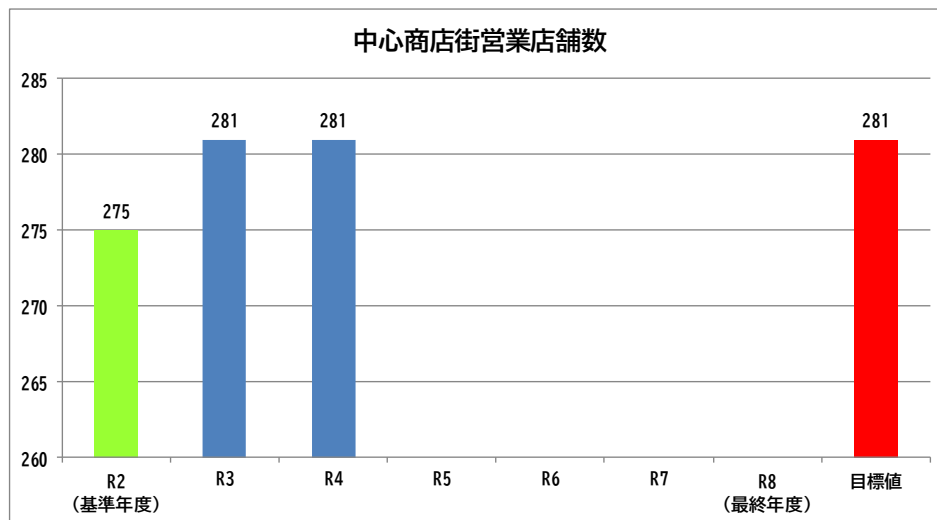
3. 前回のフォローアップと見通しが変わった場合の理由

前回見通しからの変更なし

4. 目標指標ごとのフォローアップ結果

(1) 「中心商店街営業店舗数」、「中心商店街への新規出店数」 ※目標設定の考え方認定
基本計画 P64～P66 参照

●調査結果と分析



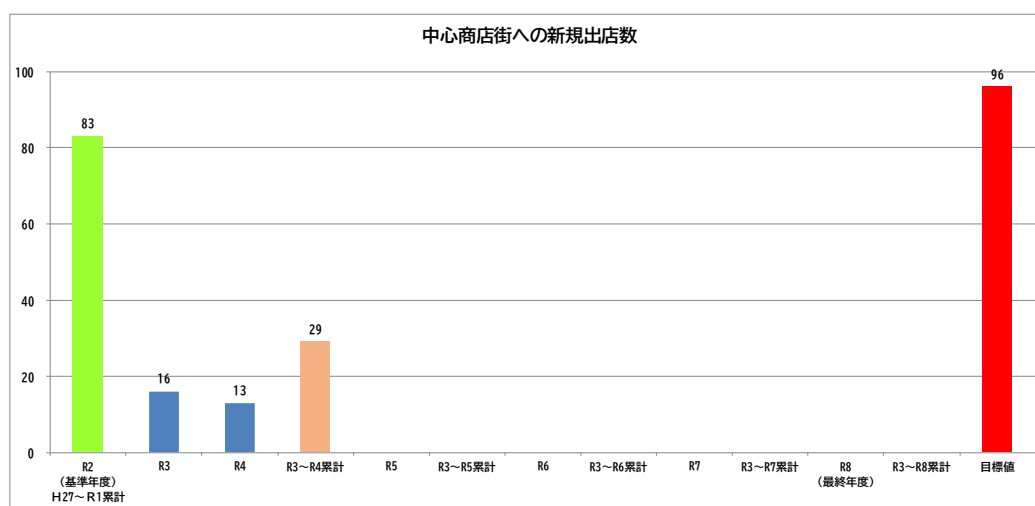
年	店舗
R2 (基準年度)	275
R3	281
R4	281
R5	
R6	
R7	
R8 (最終年度)	
目標値	281

※調査方法：毎年行う中心市街地の商店街等の営業店舗数調査

※調査月：10月末

※調査主体：山口市

※調査対象：山口市商店街連合会に加盟する商店街に面して立地した店舗等



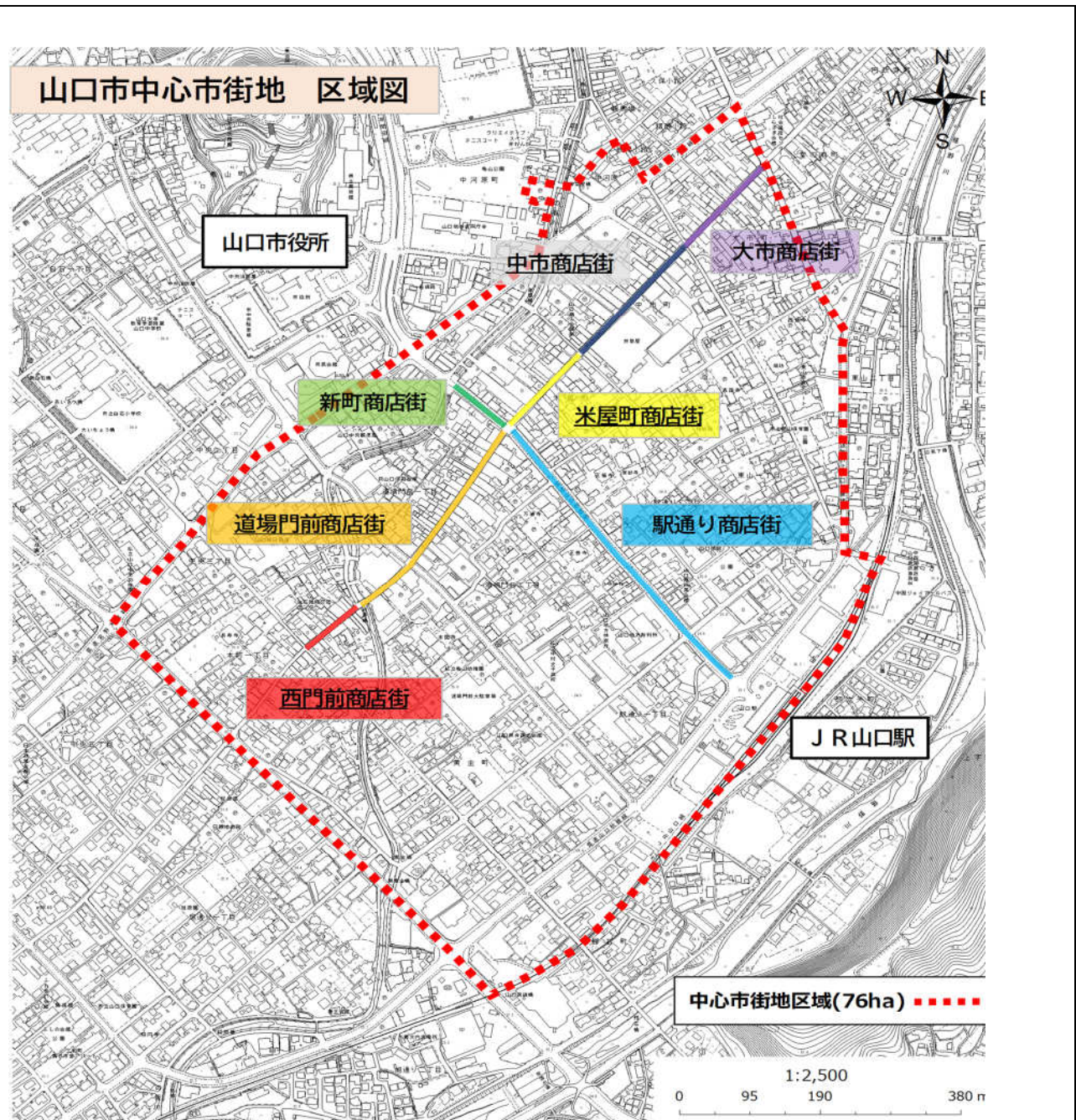
年	店舗
R2 (基準年度) H27～R1累計	83
R3	16
R4	13
R3～R4累計	29
R5	
R3～R5累計	
R6	
R3～R6累計	
R7	
R3～R7累計	
R8 (最終年度)	
R3～R8累計	
目標値	96

※調査方法：タウンマネージャーの行う中心商店街の店舗数調査

※調査月：3月末

※調査主体：山口市中心市街地活性化協議会（街づくり山口）

※調査対象：山口市商店街連合会に加盟する商店街に面して立地した店舗等



〈分析内容〉

「中心商店街営業店舗数」については、調査月となる10月末時点において昨年度と同じく281店舗で推移し、令和5年3月末時点では282店舗となっている。

「中心商店街への新規出店数」については、「あきないのまち支援事業」ほか各種事業の実施により新たに13店舗の出店実績があったものの、12店舗の閉退店があった。

これまでのような新型コロナウイルス感染症による外出規制などの行動制限はなかったものの、外出を憚るマイナスの心理的要因が、若干うかがえた。しかしながら、昨年度と同様に県内市内へ買い物客が回帰する傾向は強く見られたことに併せ、タウンマネージャーによる空き店舗情報のワンストップ化が功を奏しており、中心商店街への出店意欲は継続しているものと考えられる。

出店業種の傾向は、小売業のほかにサービス業が増加傾向にある。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①あきないのまち支援事業

事業実施期間	平成20年度～【実施中】
事業概要	空き店舗への新規開業者に対して、出店時の店舗改修に係る費用の一部を助成する。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業 令和3年7月～令和9年3月（令和3年度～令和8年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	事業目標値：新規出店数 年平均8店舗 最新値：年平均8店舗 令和4年度は6件の補助申請・実績があり、令和3年度から累計16件の実績があった。
事業の今後について	今後も、中心商店街の空き店舗への出店者に対する改装費等の支援を継続して実施する。

②店舗改修支援事業

事業実施期間	令和3年度～【実施中】
事業概要	老朽化や店舗一体型住居が原因で長期間空き店舗となっている物件をまちづくり事業者が借り受け、リノベーション等の手法により建物を再生し、テナントとして出店者にサブリースする事業に対して改修費用の一部を助成する。
国の支援措置名及び支援期間	地方創生推進交付金 令和3年度～令和5年度
事業目標値・最新値及び進捗状況	事業目標値：新規出店数 年平均1店舗 (店舗取得支援事業と合わせての目標) 最新値：年平均0店舗 令和4年度は、問い合わせや、実施に向けた協議はあったものの実績はなかった。
事業の今後について	令和5年度は、2件の物件所有者と交渉を進めている。

店舗取得支援事業

事業実施期間	令和4年度～【実施中】
事業概要	商店街組合等がアーケードに面した店舗1階部分の商業床を買い取り、にぎわいの創出に資する店舗としてサブリースして運営する事業に対して取得費の一部を助成する。
国の支援措置名及び支援期間	地方創生推進交付金 令和4年度～令和5年度
事業目標値・最新値及び進捗状況	事業目標値：新規出店数 年平均1店舗 (店舗改修支援事業と合わせての目標) 最新値：年平均1店舗 令和4年度は、3月に米屋町商店街において店舗取得支援事

	業の実績があり、店舗の連続性の確保を行った。
事業の今後について	令和5年度は、店舗取得支援事業としての交渉案件は現時点ではない。

③中心商店街開業サポートセンター事業

事業実施期間	令和3年度～【実施中】
事業概要	空き店舗に関する情報の収集、発信、出店相談窓口、各種支援の案内等を一元的に集約し、開業につなぐ事業
国の支援措置名及び支援期間	なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	事業目標値：新規出店数 年平均1店舗 (多様性あふれる商店街推進事業と合わせての目標) 最新値：年平均9店舗 中心商店街等の空き店舗に関する情報をまちづくり事業者のホームページに一括掲載しており、出店に関する相談・支援も併せて受付けている。令和4年度の間い合わせ件数は47件で、そのうち8件が出店した。
事業の今後について	今後も継続して実施し、中心商店街への出店を促進し、にぎわいの創出を図る。

多様性あふれる商店街推進事業

事業実施期間	令和3年度～【実施中】
事業概要	百貨店との連携により空きスペース・空き店舗等を活用し、市内各地域の魅力ある特産品の販売や地域資源の情報発信、山口ならではの商品販売やサービス、教育的なコンテンツやアクティビティの提供等、商業活動以外も含めた様々なプレイヤーの多様な活動の展開を図る場を通年で運営する。
国の支援措置名及び支援期間	地方創生推進交付金 令和3年度～令和5年度
事業目標値・最新値及び進捗状況	事業目標値：新規出店数 年平均1店舗 (中心商店街開業サポートセンター事業と合わせての目標) 最新値：年平均0店舗 山口井筒屋2階に地域の魅力発信・交流スペース「コトサイト」を開設し、地場商品の販路開拓支援のほか、圏域内のイベント情報等の発信、地域資源を活用した体験コーナーや図書コーナーの設置など、地域の魅力発信スペース等における企画展示やイベントを実施した。
事業の今後について	今後も継続して実施し、中心商店街への出店を促進し、にぎわいの創出を図る。

④中心商店街稼働力向上支援事業

事業実施期間	令和3年度～【実施中】
事業概要	中心商店街全体の稼働力の向上に向けて、QRコード等を利用したキャッシュレス化やスタンプカード・クーポン機能のデジタル化等スマート商店街に資する取組や、多種多様な店舗が集積している環境を最大限に生かすため事業者間連携による新しいサービスの創出、大学・地域との連携による新たな商品の開発、広域からの来街者の増加に資する取組等について、既存店舗等が負担する経費の一部を助成する。
国の支援措置名及び支援期間	地方創生推進交付金 令和3年度～令和5年度
事業目標値・最新値及び進捗状況	事業目標値：閉退店 年平均15店舗 (まちゼミと合わせての目標) 最新値：年平均10店舗 令和4年度は既存店舗への魅力UP、個店の集客力や販売力を高めることを目的に、店舗の動線やディスプレイ、POP等の見直しを行う店舗改善に関する取組を、費用のかからないものを含めて5店舗で行った。
事業の今後について	今年度も引き続き「中心商店街稼働力向上支援事業」を実施し、既存店舗の営業支援を行う。

まちゼミ

事業実施期間	令和3年度～【実施中】
事業概要	商店街店舗の店員が自ら講師となって、プロならではの専門知識や情報、コツを来店者に無料で教えるミニ講座を定期的に開催する。
国の支援措置名及び支援期間	なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	事業目標値：閉退店 年平均15店舗 (中心商店街稼働力向上支援事業と合わせての目標) 最新値：年平均10店舗 商店街店舗の店員が自ら講師となり、新規顧客やリピーターづくりを行う本事業を23講座開催し、100名を超える受講者があった。
事業の今後について	今年度も引き続き「まちゼミ」を実施し、既存店舗の営業支援を行う。

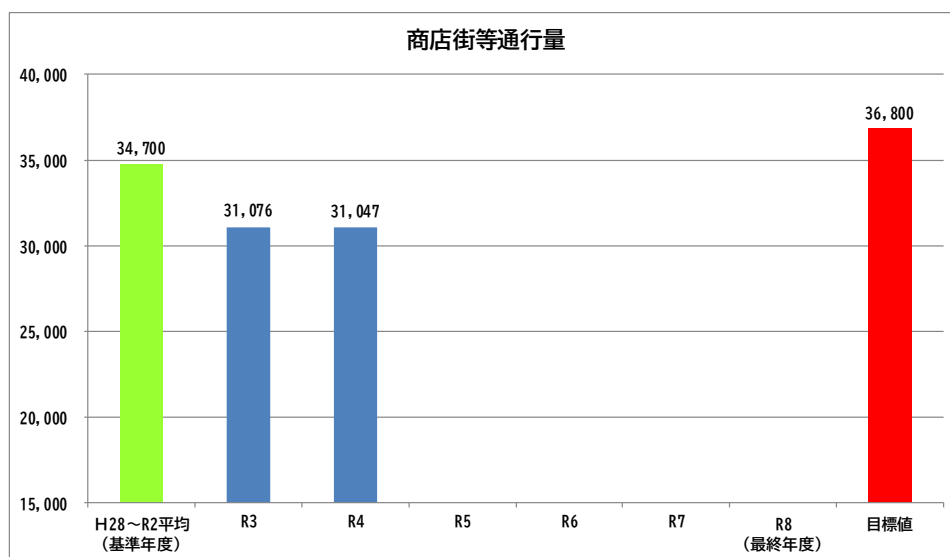
●目標達成の見通し及び今後の対策

目標達成に寄与する主要事業については、それぞれ一定の効果が出ており、新規出店に関する問い合わせ件数も多い状況となっている。また、閉退店も低く抑えられていることから、目標達成が見込まれる見通しとしている。

今後については、引き続き、空き店舗への出店に係る改装費用等の支援や開業に関する相談窓口、新規出店に関する各種情報のワンストップ化により、空き店舗の減少に取り組むとともに、既存店舗に対する営業力強化に向けた支援策の実施により、中心商店街からの閉退店の抑制を図る取組を進める。加えて、タウンマネージャーを中心として、閉退店の情報をいち早くつかむことにより、新規出店に向けた迅速な情報提供、相談につなげる取組を進めることで、営業店舗数の維持を図る。

(2)「商店街等通行量（通常時の平日・休日平均）」※目標設定の考え方認定基本計画 P67～P71 参照

●調査結果と分析



年	人/日
H28～R2平均 (基準年度)	34,700
R3	31,076
R4	31,047
R5	
R6	
R7	
R8 (最終年度)	
目標値	36,800

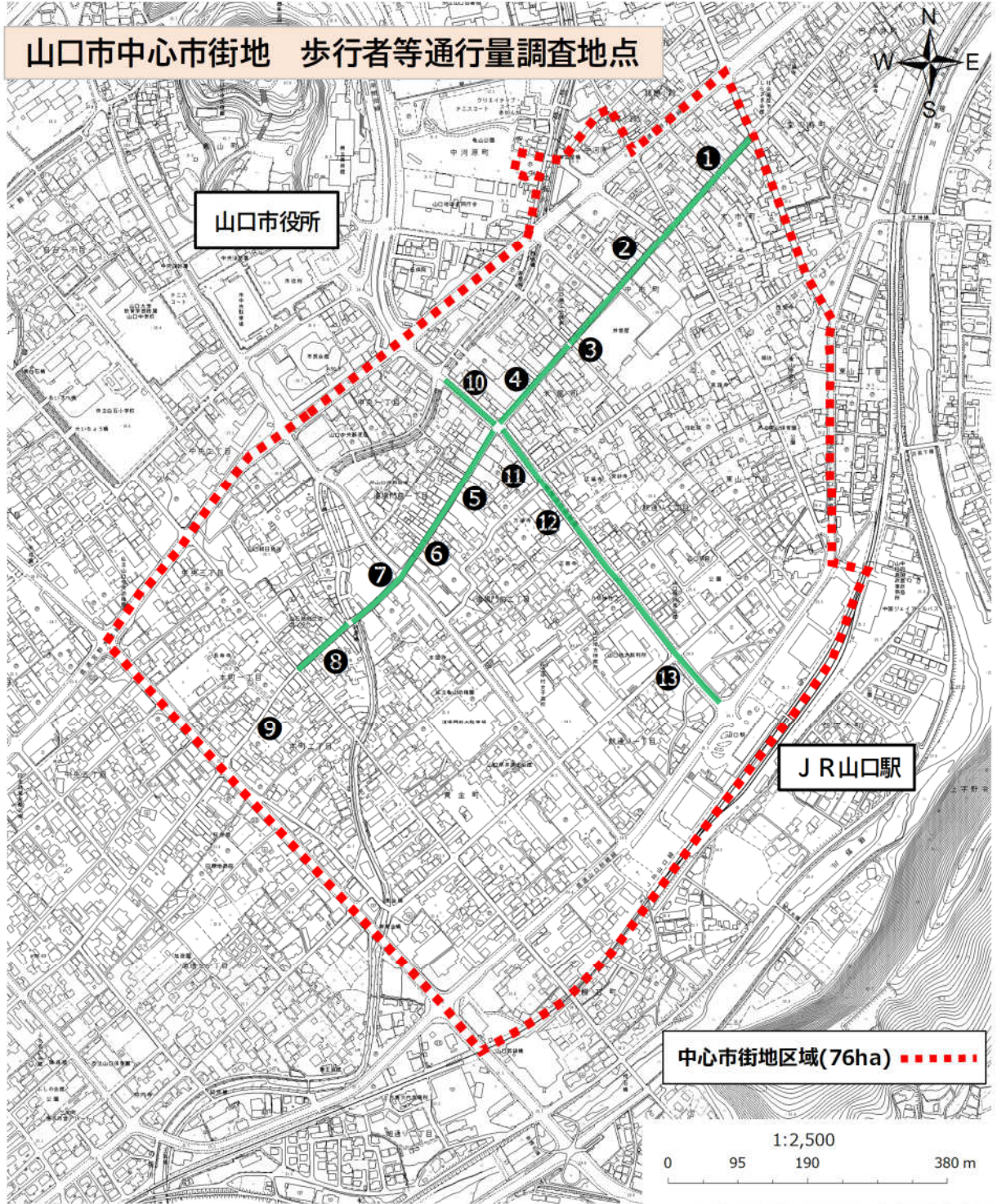
※調査方法：13地点に調査員を配置し通行量調査を実施

※調査月：10月

※調査主体：山口市（山口商工会議所へ委託）

※調査対象：中心市街地主要13地点の通行者（自転車含む）

山口市中心市街地 歩行者等通行量調査地点



調査地点別通行量比較表

調査地点	令和2年		令和3年		令和4年		令和5年	令和6年	令和7年	令和8年
	10月11日	10月13日	10月10日	10月12日	10月9日	10月11日				
	日曜	火曜	日曜	火曜	日曜	火曜				
	晴	晴時々曇	晴	曇時々雨	雨	晴				
①大市・岩見屋寝具店前	2,120	1,154	1,208	798	810	790				
②中市・金子染物店前	3,466	2,410	3,010	1,958	2,474	1,968				
③中市・JTB山口店前	8,588	4,544	6,588	4,202	5,780	4,240				
④米屋町・みずほ銀行山口支店前	6,756	3,850	5,588	3,582	5,174	3,598				
⑤道場門前・旧和韓業膳茶房友前	5,316	3,128	5,228	2,662	5,224	3,164				
⑥道場門前・コーヒーボーイ前	4,488	2,964	3,588	2,260	3,730	2,826				
⑦道場門前・どうもんパーク前	3,318	3,168	2,930	2,054	4,602	2,326				
⑧本町・ビューティ愛前	1,494	2,078	1,770	1,754	1,224	2,128				
⑨荒高・旧吉永時計店前	942	1,326	1,064	816	716	1,138				
⑩新町・ギャルソン前	1,362	1,670	1,522	1,004	1,850	1,478				
⑪駅通り・無印良品山口店前	2,792	1,918	1,788	1,186	1,238	1,290				
⑫駅通り・万徳寺前	1,558	1,472	1,642	1,242	1,162	1,438				
⑬駅通り・熟成からあげAomizu前	812	1,346	958	1,750	664	1,062				
	43,012	31,028	36,884	25,268	34,648	27,446	0	0	0	0

〈分析内容〉

歩行者等通行量については、昨年度と比較して、休日が減少し平日が増加したものの、昨年度とほぼ同じ数値で推移している。

⑤～⑩までの地点のある道場門前商店街、本町商店街において顕著に増加している。これは、まちなかクリエイティブフィールド事業の活動拠点「VIVISTOP YAMAGUCHI」の開設や、商店街イベント「山口クラフトマルシェ」等の実施により、新たな来街者の増加が影響したものと推測される。

①～④地点のある大市・中市・米屋町商店街及び、⑪～⑬の駅通りでは減少しており、天候による要因等が想定される。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①新本庁舎整備事業（新本庁舎棟、市民交流棟、新本庁舎前広場、中央駐車場整備）

事業実施期間	令和3年度～令和8年度【実施中】
事業概要	「市民が集う親しみをもてる庁舎」を目指し、「新本庁舎棟」とともに、市民が多目的に利用可能な「市民交流棟」、市民の憩いの場となる「広場」及び都市計画駐車場と来街者駐車場を合築した新たな中央駐車場を整備する。
国の支援措置名及び支援期間	都市構造再編集中支援事業（山口市中心市街地周辺地区） 令和3年度～令和6年度
事業目標値・最新値及び進捗状況	事業目標値 580人/日 令和4年度は隣接する既存の立体駐車場を解体し、新本庁舎棟の実設計を行い建設工事に着手した。
事業の今後について	令和5年度は、第1期として令和6年度末までの完成を目指し、新本庁舎棟の工事を進める。

②商店街の店舗対策等による効果

1) 空き店舗対策事業

あきないのまち支援事業

事業実施期間	平成20年度～【実施中】
事業概要	空き店舗への新規開業者に対して、出店時の店舗改修に係る費用の一部を助成する。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業 令和3年7月～令和9年3月（令和3年度～令和8年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	事業目標値 270人/日 最新値 270人/日 あきないのまち支援事業では、R4年度に6店舗の補助実績があった。
事業の今後について	令和5年度以降も、あきないのまち支援事業を継続して実施し、空き店舗への出店促進を図る。

店舗改修支援事業

事業実施期間	令和3年度～【実施中】
事業概要	老朽化や店舗一体型住居が原因で長期間空き店舗となっている物件をまちづくり事業者が借り受け、リノベーション等の手法により建物を再生し、テナントとして出店者にサブリースする事業に対して改修費用の一部を助成する。
国の支援措置名及び支援期間	地方創生推進交付金 令和3年度～令和7年度
事業目標値・最新値及び進捗状況	事業目標値 270人/日 最新値 270人/日 店舗改修支援事業としての実績はない。
事業の今後について	令和5年度は、2件の案件を交渉中であり、事業実施に向け引き続き取り組む。

店舗取得支援事業等

事業実施期間	令和4年度～【実施中】
事業概要	商店街組合等がアーケードに面した店舗1階部分の商業床を買い取り、にぎわいの創出に資する店舗としてサブリースして運営する事業に対して店舗取得費の一部を助成する。
国の支援措置名及び支援期間	地方創生推進交付金 令和4年度～令和5年度
事業目標値・最新値及び進捗状況	事業目標値 270人/日 最新値 270人/日 店舗取得支援事業については、令和4年度末（令和5年3月）に1件完了しており、事業効果は令和5年度以降となる見込み。

事業の今後について	令和5年度は具体の案件はない。
2) 既存店舗対策 中心商店街稼働力向上支援事業	
事業実施期間	令和3年度～【実施中】
事業概要	中心商店街全体の稼働力の向上に向けて、QRコード等を利用したキャッシュレス化やスタンプカード・クーポン機能のデジタル化等スマート商店街に資する取組や、多種多様な店舗が集積している環境を最大限に生かすため事業者間連携による新しいサービスの創出、大学・地域との連携による新たな商品の開発、広域からの来街者の増加に資する取組等について、既存店舗等が負担する経費の一部を助成する。
国の支援措置名及び支援期間	地方創生推進交付金 令和3年度～令和7年度
事業目標値・最新値及び進捗状況	事業目標値 250人/日 最新値 126人/日 令和4年度は既存店舗への魅力UP、個店の集客力や販売力を高めることを目的に、店舗の動線やディスプレイ、POP等の見直しを行う店舗改善に関する取組を、費用のかからないものを含めて5店舗で行った。
事業の今後について	令和5年度は、すでに複数の問い合わせがある状況となっており、助成にまで至らない場合でも、外部専門家によるコンサルティングの実施により、既存店舗の魅力アップにつながっていることから、今後も、既存店舗の営業力の強化に向けた支援を継続する。
③歩きたくなるまちなか整備事業（山口駅通り、商店街アーケード、大市商店街）	
事業実施期間	歩きたくなるまちなか整備事業（山口駅通り） 令和6年度～令和8年度【未実施】 歩きたくなるまちなか整備事業（商店街アーケード） 令和4年度～令和9年度【実施中】 歩きたくなるまちなか整備事業（大市商店街） 令和4年度～令和6年度【実施中】

事業概要	<p>歩きたくなるまちなか整備事業（山口駅通り） 道路バリアフリー化に併せた修景整備</p> <p>歩きたくなるまちなか整備事業（商店街アーケード） アーケード内のタイル舗装を改修</p> <p>歩きたくなるまちなか整備事業（大市商店街） 大市商店街の道路の修景整備</p>
国の支援措置名及び支援期間	都市構造再編集中支援事業（山口市中心市街地周辺地区） 令和3年度～令和6年度
事業目標値・最新値及び進捗状況	<p>事業目標値 750人/日</p> <p>事業を進めているが、完了まで目標値に対しての効果が見込めない。</p> <p>歩きたくなるまちなか整備事業（商店街アーケード）については、商店街タイル舗装の改修に向けて地元商店街と協議を進め、実施設計を行った。</p> <p>歩きたくなるまちなか整備事業（大市商店街）についても、地元商店街と修景整備に向けた協議を進め、実施設計を行った。</p>
事業の今後について	<p>令和5年度からは、歩きたくなるまちなか整備事業（商店街アーケード、大市商店街）については着工となる見込みであるが、商店街の店舗も営業中であることから、工事着手箇所や施工方法の詳細について詰めて行く必要がある。</p> <p>歩きたくなるまちなか整備事業（山口駅通り）については令和6年度から実施の見込み。</p>

④アートでつなぐまちの活性化事業

事業実施期間	令和3年度～【実施中】
事業概要	アートが持つ人と人をつなぐツールとしての機能を活用して、YCAM作品の展示等を空き店舗・空きスペースを活用して実施。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業 令和3年7月～令和9年3月（令和3年度～令和8年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	<p>事業目標値 170人/日</p> <p>最新値 1,692人/日</p> <p>令和4年度は、レクチャー、ギャラリートツアー、ワークショップ等の企画・運営が自らできるスキルを身に付けたアートコミュニケーターの育成を行うとともに、市内外からの誘客を促すため、空き店舗・空きスペースを活用したアート展示を行った。</p> <p>商店の店舗を美術館に見立てアート作品を展示する「商店がはじめて美術館になってみた」を、中心商店街の4店舗で</p>

	<p>約2週間にわたり開催した。また、期間中には商店街を架空の学校と見立て、アート作品の鑑賞会やアートに関する講演会を行う「アルスコーレ」も開催した。</p> <p>また、子どもを核とした回遊性の向上を図るため、コロガル公園の知見を活用した遊び場「コロガルあそびのひゃっかてん」を山口井筒屋2階に開設した。</p> <p>個々の事業の実施期間中は多くの来場者があった。</p>
事業の今後について	<p>コロガルシリーズは、全国的に展開しているYCAMの人気コンテンツであり認知度も高く、多くの来場者が見込めるため、これを軸としつつ、他の事業の連携を意識し、商店街へ人が染み出ていくような、効果的な事業実施を図る。</p>

⑤まちなかクリエイティブフィールド事業

事業実施期間	令和3年度～【実施中】
事業概要	<p>商店街の空き店舗や空きスペースを有効的に活用し、子ども達が主体的に地域に関わることができる仕組みを持つ拠点を作り、商店街を盛り上げる様々な活動を展開する。</p>
国の支援措置名及び支援期間	<p>地方創生推進交付金 令和3年度～令和5年度</p>
事業目標値・最新値及び進捗状況	<p>事業目標値 20人/日 最新値 54人/日</p> <p>中心商店街の空き店舗に活動拠点として「VIVISTOP（ヴィヴィストップ）」を開設し、子ども達のアイデア出しやものづくりの場としての展開を行った。</p> <p>令和4年度は、年間通じて「VIVISTOP YAMAGUCHI」を運営し、商店街における複数の課題解決等に関するプロジェクトを立ち上げ、やまぐち宝物マップや、新規店舗の看板づくりなど、ものづくりを実施した。</p>
事業の今後について	<p>まちなかで多様な人々が商店街で活動するという点で、アートでつなぐまちの活性化事業との親和性もあるため、今後は相乗効果が生まれるように実施内容を工夫しつつ、年間通じて「VIVISTOP YAMAGUCHI」を開設し、ものづくり等の事業を実施する。</p>

⑥グランドパレス米屋町プライムマークス（分譲マンション）

事業実施期間	令和2年度～令和4年度【実施中】
事業概要	<p>都市機能が集約され利便性の高い中心市街地において、魅力ある店舗付き共同住宅を供給</p>
国の支援措置名及び支援期間	なし

事業目標値・最新値 及び進捗状況	事業目標値 90人/日 民間事業者により建築工事が進められ、令和5年3月に竣工した。効果の見込みは今後となる。
事業の今後について	今後は分譲マンションへの入居により、居住人口の増加が見込まれる。

●目標達成の見通し及び今後の対策

空き店舗対策等商店街の魅力を高める取組については、順調に進んでおり今後も継続して実施する。

また、まちを楽しむ場として多様な人々が集うことで来街者を呼び込むための取組である「アートでつなぐまちの活性化事業」や「まちなかクリエイティブフィールド事業」についても事業進捗としては順調に進んでいる。

中心市街地を歩きたくなるまちなかとする「まちなかウォークブル」の主な事業である「歩きたくなるまちなか整備事業」に関しては、令和4年度から商店街アーケード及び大市商店街において工事着手した。

中心市街地を歩きたくなるまちなかとする「まちなかウォークブル」の主な事業である「歩きたくなるまちなか整備事業」に関しては、令和4年度から商店街アーケード及び大市商店街において工事着手した。

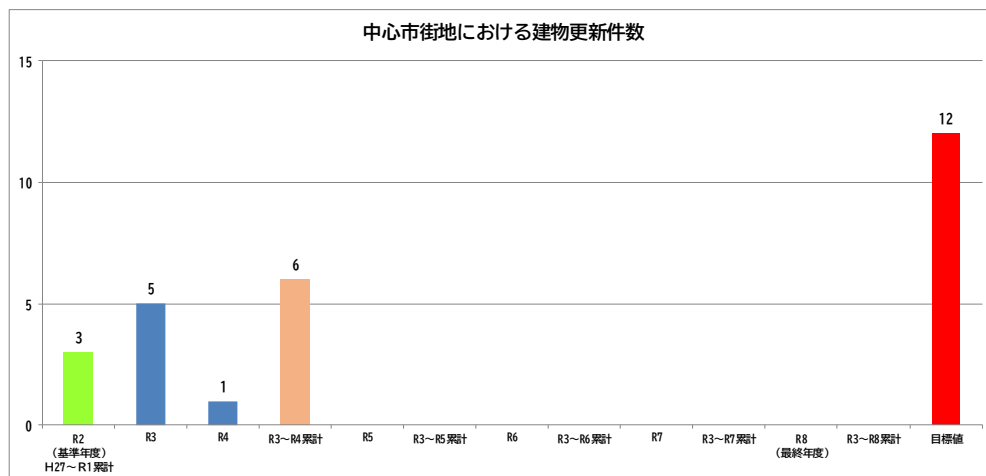
目標達成に必要な事業は順調に進んでいるものの、商店街等通行量（通常時の平日・休日平均）の数字としては昨年度と同等となり、目標値に届いていない状況である。

しかし、新型コロナウイルス感染症の影響によるマイナスの心理が薄らいでいくと予想されることから、今後については、各種事業を効果的に実施することで、商店街が魅力的な空間として認知され、まちに出ていこうという意識の醸成を図る。

(3)「中心市街地における建物更新件数」

※目標設定の考え方認定基本計画 P72～P74 参照

●調査結果と分析



年	件
R2 (基準年度) H27～R1累計	3
R3	5
R4	1
R3～R4累計	6
R5	
R3～R5累計	
R6	
R3～R6累計	
R7	
R3～R7累計	
R8 (最終年度) R3～R8累計	
目標値	12

※調査方法：現地調査

※調査月：3月末

※調査主体：山口市

※調査対象：中心市街地の老朽建築物

〈分析内容〉

「山口駅前地区住宅市街地総合整備事業」の善福寺地蔵通り線及び相物小路・銭湯小路線については順調に進捗しており、特に相物小路においては拡幅工事に伴う住宅等の建築物の除却が進み狭隘道路が拡幅され、交差点の視距も改良され安全安心なまちづくりが進んだ。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①山口駅前地区住宅市街地総合整備事業

事業実施期間	平成25年度～令和7年度
事業概要	密集市街地における老朽建築物の除却・建替え等を、善福寺地蔵通り線、相物小路・銭湯小路線において実施する。
国の支援措置名及び支援期間	防災・安全交付金（住宅市街地総合整備事業） 平成30年度～令和4年度
事業目標値・最新値及び進捗状況	事業目標値 6件 最新値 1件 令和4年度は相物小路において店舗住宅1件の除却を行った。
事業の今後について	令和5年度以降も、善福寺地蔵通り線、銭湯小路線の道路拡幅等の整備工事を実施。

②店舗改修支援事業

事業実施期間	令和3年度～【実施中】
事業概要	店舗改修支援事業【再掲】 老朽化や店舗一体型住居が原因で長期間空き店舗となっている物件をまちづくり事業者が借り受け、リノベーション等の手法により建物を再生し、テナントとして出店者にサブリースする事業に対して改修費用の一部を助成する
国の支援措置名及び支援期間	地方創生推進交付金 令和3年度～令和5年度
事業目標値・最新値及び進捗状況	事業目標値 6件 最新値 0件 店舗改修等支援事業については、令和4年度から実施しており、地権者と交渉を行った。
事業の今後について	令和5年度は、2件の物件所有者と交渉を進めている。

●目標達成の見通し及び今後の対策

「山口駅前地区住宅市街地総合整備事業」は順調に進捗しており、老朽建築物等の除却により安全安心なまちづくりが図られる見込み。善福寺地蔵通り線において地権者交渉が難航している箇所が一部あるものの、合意に向けて事業実施していく。

「店舗改修支援事業」についても、令和4年度に実績はなかったが、事業化に向けた調整を進めており、令和5年度は具体化を予定している。まちづくり事業者によるサブリースの事業については、まずは1号案件を成立させることで周知も進み、広がりを見せると考えており、今後も事業を継続実施し、長期間にわたり貸し出しが出来なくなっている空き店舗の再生・活用に取り組む。